

県内景況情報

6月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

原因は不明だが、6月は売上不振であった。原材料の値上げが続き苦勞している。

〔パン・菓子製造業〕

売上はほぼ横ばいだが、7月より材料の小麦の値上げが確定しており、若干の在庫増となった。今後は暑くなる上に、売価を上げることもできないので、利益確保は困難が予想される。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

受注好調企業と不調企業に分かれている状況は変わらない。収支は均衡した状況で推移している企業が多く、先行きは厳しい。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

受注状況等は変化がない。電気使用量は前年同月比99.9%（前々年度同月比100.4%）。

〈その他の製造業〉

〔その他の製造業〕

6月は毎年厳しい時期であるが、今年は梅雨入りが早く一層苦戦を強いられた。梅雨明け後の予約注文は増えてきているので、7月以降は安定した受注になると予想される。

● 非製造業

〈小売業〉

〔茶類小売業〕 低価格品の需要はかなり旺盛で品薄であるが、中級・上級茶の動きが依然として鈍い。組合主催の茶販売会の結果についても低価格品の出品が少なく、販売実績が前年比80%と苦戦している。

〈卸売業〉

〔古紙卸売業〕 品質の向上を目指したことで選別作業に手間がかかっているが、その分引き合いも増えており、海外輸出については全体的に強含みの状況である。しかし、中国については政策と輸出状況が密接に絡んでおり、依然不透明な状況が継続している。

〔電気機械器具卸売業〕 猛暑の影響でエアコンの売上が好調である。

〔生鮮魚介卸売業〕 養殖物が少しずつ値上げとなり、利益率が益々悪くなっている。

〈商店街〉

〔北九州市〕 旧小倉ホテル空地の有効利用策を小倉中央商業連合会にて提言した。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕 売上は前年同月と比べるとほぼ横ばい、且つ、前々年同月と比べると約1%のダウンとなった。人手不足が続いている。

〈建設業〉

〔建築工事業〕 若年者及び熟練工ともに厳しい雇用環境は変わらない。

〔建築工事業〕 今月も前年に比べ仕事量は減少している。

〈運送業〉

〔道路貨物運送業〕 車両・ドライバー不足等を背景に運賃引き上げ交渉の機運が高まっている。しかし、燃料の高止まり、規制強化対策へのコストアップ等厳しい経営環境となっている。

〔道路貨物運送業〕 長距離幹線輸送の企業では、九州～関西・関西～関東のリレー輸送の際、ドライバーを中継拠点で交代させることにより対応している。

〔倉庫業〕 燃料費の高騰や運転手の不足により人件費が高くなっているため、売上は増加しているものの収益は伸びていない。荷の動きは活発である。

福岡県の業種別D・I値の変化

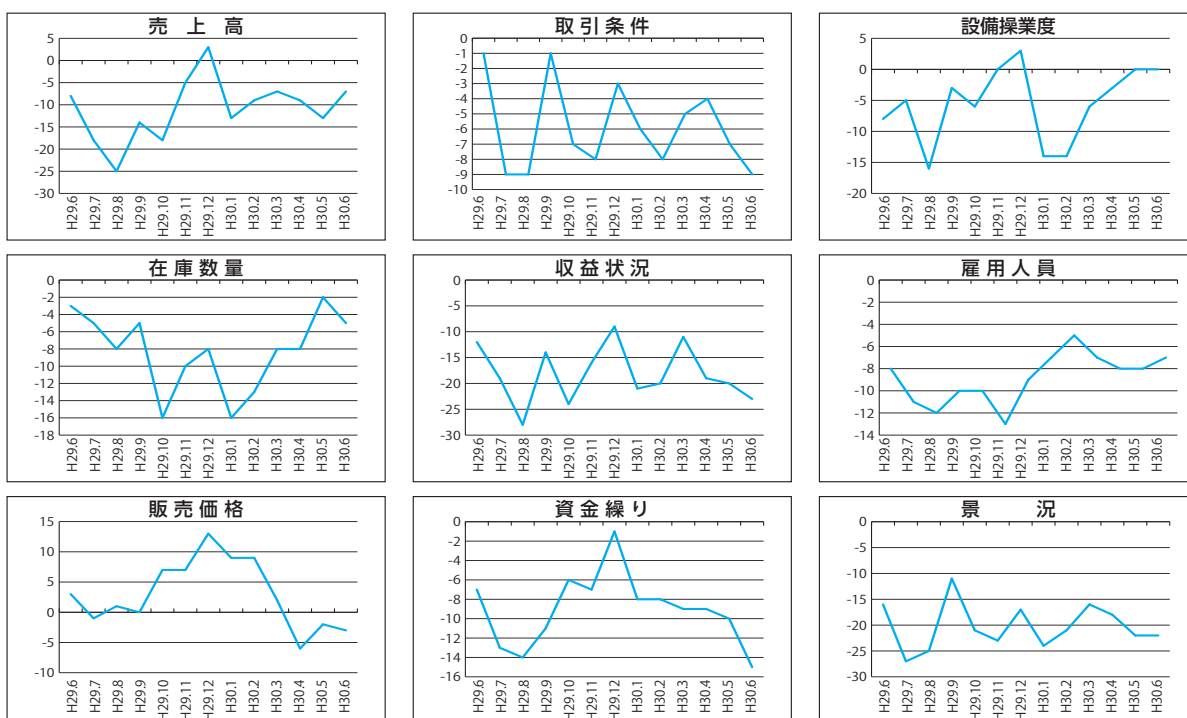
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	→	→	→	↓	↓	↓	↓	→	↓
	木材・木製品	↓	↓	→	→	↓	↓	↓	→	↓
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	窯業・土石製品	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↑	→	→	→	↑	→	↑	→	↑
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	↓	→	→	↓	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	→
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-7	-5	-3	-9	-23	-15	0	-7	-22

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中6項目が下降した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>